

第 1 章
平成 26 年度
知的財産保護包括協力事業の概要

I. 共同研究の背景と目的

中国では2008年6月に発表された「国家知的財産戦略綱要」をもとに知的財産の創造・活用・保護・管理の能力を向上させ、イノベーション型国家を目指した取組が進められている。

一方日本では、2002年に「知的財産基本法」が制定され知的財産の創造、保護及び活用に関する施策への取り組みが行われてきたが、この2013年6月7日、政府知的財産戦略本部は「知的財産政策ビジョン」を発表し、過去10年間の日本の知的財産政策についての総括及び今後10年を見据えた取組が取りまとめられた。

そこで、中国でこれまで進められてきた知的財産に関する取組・戦略について取りまとめを行うとともに、日本における「知的財産政策ビジョン」についての検証を行い、さらには知的財産の創造・保護・活用をさらに発展せしめる知的財産制度を検証するために、中国・日本双方の有識者とともに中国・日本両国の知的財産施策の方向性の検証および、それらに関する調査・研究を共同で実施する。

Ⅱ．共同研究の概要

1．実施事項

- (1) 中国・日本政府関係機関・学術機関と連携した課題抽出等
 - (i) 産業財産権法及び隣接法に係る制度・運用（審査・エンフォースメント等）適正化に資する共同研究の実施
 - (ii) 産業財産権法及び隣接法を所管する中国政府関係機関との意見交換の実施
- (2) 法・運用整備に係る中国知財関係者との知見の共有及び共通理解の向上
 - (i) 産業財産権法及び隣接法を所管する中国政府関係機関担当者等知財関係者の日本国への招へい並びに日本の有識者及び日本のユーザー（出願人・弁理士等）との意見交換の実施
 - (ii) 中国政府関係機関又は学術機関と協力し、中国知財関係者を対象とした法制度・運用に係るワークショップ（討論会）の実施

2．研究テーマと担当研究者

(1) 日中における国家戦略の中の知財戦略に関する比較研究

中国側	日本側
呉 漢東 教授（中南財經政法大学） 管 育鷹 教授（中国社会科学院） 熊 琦 副教授（中南財經政法大学）	高倉 成男 教授（明治大学） 浅見 節子 教授（東京理科大学）

(2) 知財の在り方に関する基礎理論の研究

中国側	日本側
李 明德 教授（中国社会科学院） 唐 広良 教授（中国社会科学院）	中山 一郎 教授（國學院大學） 山根 崇邦 准教授（同志社大学）

(3) 知財の人材育成問題に関する比較研究

中国側	日本側
曹 新明 教授（中南財經政法大学） 李 明德 教授（中国社会科学院） 陳 愛華 講師（重慶大学）	菊池 純一 教授（青山学院大学）

III. 研究者会議、意見交換会等の概要

1. 研究者会議

(1) 第1回研究者会議

日時等：平成26年7月28日（月曜日）（開催地：中国 武漢）

主 催：中南財經政法大学 知識産権研究センター／一般財団法人 知的財産研究所

出席者：

中国側	日本側
◆中南財經政法大学 呉 漢東 教授、曹 新明 教授、熊 琦 副教授 ◆中国社会科学院 李 明德 教授、管 育鷹 教授 ◆重慶大学 陳 愛華 講師	◆國學院大學 中山 一郎 教授 ◆青山学院大学 菊池 純一 教授 ◆東京理科大学 浅見 節子 教授 ◆同志社大学 山根 崇邦 准教授 ◆上智大学 駒田 泰士 教授 ◆一般財団法人 知的財産研究所 三平 圭祐 常務理事、川俣 洋史 研究部長 ◆独立行政法人 日本貿易振興機構（北京） 亀ヶ谷 明久 部長、王 莹 副主幹 ◆事務局 福田 主任研究員、井手 研究員、引地 研究員

概要：

日中双方の研究者の自己紹介の後、本年度の研究テーマについて議論を行い、研究の方向性を確認した。

(2) 第2回研究者会議

日時等：平成26年11月16日（日曜日）（開催地：日本 東京）

主 催：一般財団法人 知的財産研究所

出席者：

中国側	日本側
◆中南財經政法大学 呉 漢東 教授、曹 新明 教授、熊 琦 副教授 ◆中国社会科学院 李 明德 教授、唐 広良 教授、管 育鷹 教授	◆東京大学 中山 信弘 名誉教授 ◆國學院大學 中山 一郎 教授 ◆青山学院大学 菊池 純一 教授 ◆明治大学 高倉 成男 教授 ◆同志社大学 山根 崇邦 准教授 ◆一般財団法人 知的財産研究所 三平 圭祐 常務理事、川俣 洋史 研究部長、金子 好之 統括研究員

	◆事務局 福田 主任研究員、 井手 研究員、引地 研究員、坂治 補助研究員
--	---

概要：

中山信弘先生より、本事業が国際情勢の中で単に相互理解を深めるというだけではなくて、世界の知的財産法学に与える影響という意味におきましても、極めて重要なことであるとの発言がなされ、その後各テーマについての意見を述べられた。

各研究者からは、現状の進捗状況を報告され、今後の方向性について発表された。また、それぞれの発表に対し、研究者間でそれぞれの発表をもとに意見交換がなされた。

（３）第３回研究者会議

日時等：平成 27 年 2 月 2 日（月曜日）（開催地：中国 北京）

主 催：一般財団法人 知的財産研究所

出席者：

中国側	日本側
◆中南財經政法大学 呉 漢東 教授、曹 新明 教授、熊 琦 副教授 ◆中国社会科学院 李 明德 教授、唐 広良 教授、管 育鷹 教授 ◆重慶大学 陳 愛華 講師	◆國學院大學 中山 一郎 教授 ◆青山学院大学 菊池 純一 教授 ◆明治大学 高倉 成男 教授 ◆同志社大学 山根 崇邦 准教授 ◆一般財団法人 知的財産研究所 三平 圭祐 常務理事、川俣 洋史 研究部長 ◆創英国際特許法律事務所 塚原 朋一 弁護士 ◆独立行政法人 日本貿易振興機構（北京） 亀ヶ谷 明久 部長 ◆事務局 福田 主任研究員、井手 研究員、引地 研究員

概要：

各研究者から本年度の研究成果を踏まえ、新たな課題等について研究者間で意見交換がなされた。

2. 意見交換会

(1) 第1回意見交換会

日時等：平成26年7月26日（土曜日）（開催地：中国 武漢）

主催：中南財經政法大学 知識産権研究センター／一般財団法人 知的財産研究所

出席者：

中国側	日本側
◆中南財經政法大学 呉 漢東 教授、曹 新明 教授、熊 琦 副教授 ◆中国社会科学院 李 明德 教授、管 育鷹 教授 ◆重慶大学 陳 愛華 講師 ◆中国の知財関係者 国家知識産権局、忠北大学、 中南財經政法大学 等	◆國學院大學 中山 一郎 教授 ◆青山学院大学 菊池 純一 教授 ◆東京理科大学 浅見 節子 教授 ◆同志社大学 山根 崇邦 准教授 ◆上智大学 駒田 泰士 教授 ◆一般財団法人 知的財産研究所 三平 圭祐 常務理事、川俣 洋史 研究部長 ◆独立行政法人 日本貿易振興機構（北京） 亀ヶ谷 明久 部長、王 莹 副主幹 ◆事務局 福田 主任研究員、井手 研究員、引地 研究員

基調講演：

- 「特許強国戦略と中国科学技術イノベーション力」 呉 漢東 教授
- 「国家知財戦略の実施を深めるためのいくつかの問題点」 管 育鷹 教授
- 「『知的財産立国』の実現に向けた課題—特許の活用 of 側面から—」 中山 一郎 教授
- 「知的財産を巡る現状と課題」 浅見 節子 教授

(2) 第2回意見交換会

日時等：平成26年11月17日（月曜日）（開催地：日本 東京）

主催：一般財団法人 知的財産研究所

出席者：

中国側	日本側
◆中南財經政法大学 呉 漢東 教授、曹 新明 教授、熊 琦 副教授 ◆中国社会科学院 李 明德 教授、唐 広良 教授、管 育鷹 教授	◆東京大学 中山 信弘 名誉教授 ◆國學院大學 中山 一郎 教授 ◆青山学院大学 菊池 純一 教授、川上 正隆 客員教授 ◆明治大学 高倉 成男 教授 ◆同志社大学 山根 崇邦 准教授 ◆上智大学 駒田 泰士 教授 ◆特許庁 稲野邊 麻矢 係長

	◆一般財団法人 知的財産研究所 三平 圭祐 常務理事、川俣 洋史 研究部長、 金子 好之 統括研究員 ◆事務局 福田 主任研究員、 井手 研究員、引地 研究員、坂治 補助研究員
--	---

基調講演：

- 「知財の在り方に関する基礎理論の研究—アジア特有の理論構築に向けて—」
山根 崇邦 准教授
- 「データ共有と知財保護-ビッグデータ時代の知財保護の新たな構想-」
唐 広良 教授
- 「知財の人材育成問題に関する比較研究 —特色ある教育モデルを踏まえ—」
菊池 純一 教授
- 「中国知財人材育成のモデル研究」
曹 新明 教授
- 「中国の大学における知財人材育成メカニズム研究」
李 明德 教授

（３）第３回意見交換会

日時等：平成 27 年 2 月 2 日（月曜日）、3 日（火曜日）（開催地：中国 北京）

主 催：一般財団法人 知的財産研究所

出席者：

中国側	日本側
◆中南財經政法大学 呉 漢東 教授、曹 新明 教授、熊 琦 副教授 ◆中国社会科学院 李 明德 教授、唐 広良 教授、管 育鷹 教授 ◆重慶大学 陳 愛華 講師 ◆中国の知財関係者 中国科学院、中科智橋国際投資有限公司	◆國學院大學 中山 一郎 教授 ◆青山学院大学 菊池 純一 教授 ◆明治大学 高倉 成男 教授 ◆同志社大学 山根 崇邦 准教授 ◆一般財団法人 知的財産研究所 三平 圭祐 常務理事、川俣 洋史 研究部長 ◆創英国際特許法律事務所 塚原 朋一 弁護士 ◆日本の知財関係者 独立行政法人 日本貿易振興機構（北京）、 パナソニックチャイナ、本田技研工業、 中央大学、 （株）ジェイアイエンジニアリング ◆事務局 福田 主任研究員、井手 研究員、引地 研究員

概要：共同研究者による報告書の概要を発表頂き、それぞれのテーマ毎に、意見交換を行った。

3. ワークショップ（討論会）

（1）第1回ワークショップ（討論会）

日時等：平成26年7月27日（土曜日）（開催地 中国 武漢）

主 催：中南財經政法大学 知識産権研究センター／一般財団法人 知的財産研究所

出席者：

中国側	日本側
◆中南財經政法大学 呉 漢東 教授、曹 新明 教授、熊 琦 副教授 ◆中国社会科学院 李 明德 教授、管 育鷹 教授 ◆重慶大学 陳 愛華 講師 ◆中国の知財関係者 国家知識産権局、武漢市知識産権局、 忠北大学、中南財經政法大学	◆國學院大學 中山 一郎 教授 ◆青山学院大学 菊池 純一 教授 ◆東京理科大学 浅見 節子 教授 ◆同志社大学 山根 崇邦 准教授 ◆上智大学 駒田 泰土 教授 ◆一般財団法人 知的財産研究所 三平 圭祐 常務理事、川俣 洋史 研究部長 ◆独立行政法人 日本貿易振興機構（北京） 亀ヶ谷 明久 部長、王 莹 副主幹 ◆事務局 福田 主任研究員、井手 研究員、引地 研究員

基調講演：

- 「中国の知的財産戦略の回顧と展望」 董 涛 処長
- 「今後の日本の知財政策—職務発明制度の見直しとクラウド環境への適応—」
駒田 泰土 教授
- 「中国の中部地域における知的財産戦略の若干問題」 董 宏偉 局長
- 「日中における知的財産戦略推進の展望—知財経営と知財人材育成の視点から—」
菊池 純一 教授

(2) 第2回ワークショップ(討論会)

日時等：平成27年2月1日(日曜日) (開催地：中国 北京)

主 催：一般財団法人 知的財産研究所

協 賛：中国社会科学院 知識産権センター

出席者：

中国側	日本側
◆中南財經政法大学 曹 新明 教授、熊 琦 副教授 ◆中国社会科学院 李 明德 教授、唐 広良 教授、管 育鷹 教授 ◆重慶大学 陳 愛華 講師 ◆北京知識産権法院 陳 錦川 副院長 ◆広州知識産権法院 林 広海 副院長、 ◆中国の知財関係者 最高人民法院、北京市高級人民法院、 北京知識産権法院、中国国家知識産権局、 中国科学院大学、清華大学、 北京市知識産権法研究会、 北京瑞盟知識産権代理有限公司、 林達劉グループ、中倫法律事務所、 中科智橋国際投資有限公司	◆國學院大學 中山 一郎 教授 ◆明治大学 高倉 成男 教授 ◆青山学院大学 菊池 純一 教授 ◆同志社大学 山根 崇邦 准教授 ◆創英国際特許法律事務所 塚原 朋一 弁護士 ◆日本の知財関係者 独立行政法人 日本貿易振興機構(北京)、 在中国日本大使館、企業の知財担当者等 ◆一般財団法人 知的財産研究所 三平 圭祐 常務理事、川俣 洋史 研究部長 ◆事務局 福田 主任研究員、井手 研究員、引地 研究員

基調講演：

●「日本の知的財産高等裁判所の誕生と運用から何を学べるか

—日本の知財高裁誕生の時代的背景とその10年間の運用に対する評価と反省—

創英国際特許法律事務所

塚原 朋一 弁護士

●「北京知識産権法院の設置及び直面する挑戦」

北京知識産権法院

陳 錦川 副院長

●「広州知識産権法院：新たな機関、新たなメカニズム」

広州知識産権法院

林 広海 副院長

4. 招へい

(1) 招へい1 (企業・業界団体関係者との討論会)

日時等：平成26年11月18日（火曜日）（開催地：日本 東京）

主 催：一般財団法人 知的財産研究所

出席者：

中国側	日本側
◆中南財經政法大学 呉 漢東 教授、曹 新明 教授、熊 琦 副教授 ◆中国社会科学院 李 明德 教授、唐 広良 教授、管 育鷹 教授	◆國學院大學 中山 一郎 教授 ◆青山学院大学 菊池 純一 教授、川上 正隆 客員教授 ◆明治大学 高倉 成男 教授 ◆上智大学 駒田 泰土 教授 ◆一般社団法人 電子情報技術産業協会 亀井 正博 様、大西 修平 様 ◆一般社団法人 日本知的財産協会 岡本 武蔵リカルド 様、大和田 昭彦 様、 古谷真帆様 ◆特許庁 塩澤 正和 補佐 ◆一般財団法人 知的財産研究所 三平 圭祐 常務理事、川俣 洋史 研究部長、 金子 好之 統括研究員 ◆事務局 福田 主任研究員、 井手 研究員、引地 研究員、坂治 補助研究員

基調講演：

- 「知的財産保護の戦略実施と制度構築」 呉 漢東 教授
- 「知的財産を巡る国際動向と期待される日中の貢献」 高倉 成男 教授
- 「中国知識産権への JIPA 関心事項～JIPA 内アンケート結果を参考に～」 岡本 武蔵リカルド 様

(2) 招へい2 (大学訪問)

日時等：平成 26 年 11 月 19 日 (水曜日) (開催地：日本 青山学院大学)

出席者：

中国側	日本側
◆中南財經政法大学 呉 漢東 教授、曹 新明 教授、熊 琦 副教授 ◆中国社会科学院 李 明德 教授、唐 広良 教授、管 育鷹 教授	◆青山学院大学 菊池 純一 教授、川上 正隆 客員教授、 楊 林凱 准教授、茂木 裕美 研究員、 叢 龍巖 助手 ◆事務局 福田 主任研究員、井手 研究員、引地 研究員

概要：

青山学院大学が現在実施している知財クリニックについて、営業秘密をベースに説明される。
 営業秘密を中心に意見交換がなされた。

(3) 招へい3 (大学訪問)

日時等：平成 26 年 11 月 19 日 (水曜日) (開催地：日本 東京理科大学)

出席者：

中国側	日本側
◆中南財經政法大学 呉 漢東 教授、曹 新明 教授、熊 琦 副教授 ◆中国社会科学院 李 明德 教授、唐 広良 教授、管 育鷹 教授	◆東京理科大学 荻野 誠 教授、洗 理恵 先生 ◆事務局 福田 主任研究員、井手 研究員

概要：

東京理科大学が現在実施している専門職大学院についての説明がなされる。中国側からは、『2 年間
 という期間に対し、中国では、3 年間は必要であろうと思う。また、中国には、専門職の学位制度が無
 く、さらに、授業科目の構成は、大変参考になった。』等の意見があり、有益な意見交換ができた。

(4) 招へい4 (大学訪問)

日時等：平成26年11月20日(木曜日) (開催地：日本 同志社大学)

出席者：

中国側	日本側
◆中南財經政法大学 呉 漢東 教授、曹 新明 教授、熊 琦 副教授 ◆中国社会科学院 李 明德 教授、唐 広良 教授、管 育鷹 教授	◆同志社大学 山根 崇邦 准教授 ◆事務局 井手 研究員

概要：

同志社大学の概要、知財教育現状、交換留学等の教育システムについて説明される。中国側からは、同志社大学の知財教育の歴史、現在担当教員数、講義の構成について質問がなされる。大学側からは、具体的な状況を踏まえ説明があり、有益な意見交換ができた。

(5) 招へい5 (企業訪問)

日時等：平成26年11月20日(木曜日) (開催地：日本 ローム株式会社)

出席者：

中国側	日本側
◆中南財經政法大学 呉 漢東 教授、曹 新明 教授、熊 琦 副教授 ◆中国社会科学院 李 明德 教授、唐 広良 教授、管 育鷹 教授	◆ローム(株) 名倉 孝昭 部長、長尾 康広 係長、 田中 英樹 係長、大木 崇 係長、王 峴 様、 上村 卓三 様 ◆事務局 福田 主任研究員、井手 研究員

概要：

ローム(株)の概要説明後、意見交換がなされる。

中国側からは、『日本の企業に対しての直接的なヒアリングは、めったにない事であり、貴重な時間となる。』との発言があり、また、中国の商標制度、とりわけ馳名商標制度についての詳しい説明がなされ、双方商標問題について、学術及び実務の観点から意見を交わされ、有意義な意見交換ができた。